

# 雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市長区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel.045-894-7474

## 穴埋め

今号の巻頭コラム執筆予定者とのコミュニケーション不足で、コラムに穴が開きそうになり、僕が急遽書くことになった。

コミュニケーション不足という失敗が書ききっかけになったので、僕の失敗について書いてみたい。

子供の頃からサラリーマン時代を経て今にかけても、色々と失敗している(もちろん今も)。

宿題を忘れるなんていうのは序の口、会社時代にも手配ミス・計画ミス・ダブルブッキング…。

日付や時間の間違いも決して少なくなく、行ってみたら誰もいないなんてことも。

酒では、幸い派手な喧嘩やぼったくりに遭ったことはないけれど、モノや記憶はよく無くしている。

こう考えると、僕には東電や政府を笑えないかもしれない。

時はバブル真っ盛りの1989年秋。

当時僕が勤めていた部署は接待も無いので、仕事量が増えて忙しいと感じるだけで殆どバブルの美味しい汁にはありついていなかった。

それでも、何となく浮かれて会社の先輩とリフレッシュ休暇という制度を使って台湾旅行に出掛けた。

台北中正国際空港に到着し荷物を受け取り出口から出ると、日本人観光客のための現地案内人がたくさんいて流石にバブルなんだなあ実感する。

歓迎のセドリック左ハンドルタクシーに乗り込み、台湾旅行の1日目を台北市内や周辺の観光地で楽しむ。

昼から台湾ビールと日本風な美味しい中華を楽しみ、3人や4人乗りのバイクを見て昭和30~40年代の日本を思い出しながら(雰囲気だけ)発展途上国の活気に浸った。

さて夜も迫りその日のホテルに到着。

愛想の好い運転手と明朝の迎えを約束し、フロントに向か、僕達の名前を告げると、突然脇から、「何処に行ってたんですか！」と見知らぬ男性が声を荒げながら問い詰めてきた。

こいつは何者だ！といぶかりながら話を聞いていると、あなた達は騙されたというようなことを言い出した。

ここで初めて、一日付き合った運転手が偽者で僕達が誘拐されていたことを理解した。

空港の迎えで名前を書いたカードを提示していなかったり、名前を呼ばない現地人は誘拐犯？(詐欺師?)なんだそう。

好い加減なツアー会社だったせいか、そんな説明は事前に聞いていなかった。

懐にお金を一杯持っている(当時の)日本人を鴨にする輩で、女の子のいる店に連れ込んだり高級のお土産を買うまで開放しないでお金を巻き上げるのが目的な訳だ。

確かに、昼間っから女の子の店に行かないかと何度も誘われたのも怪しいと言えば怪しい。

でも、それ以外外貨の両替でもレートも妥当だったし食べた料理もお土産(ウーロン茶)も高くなかった。

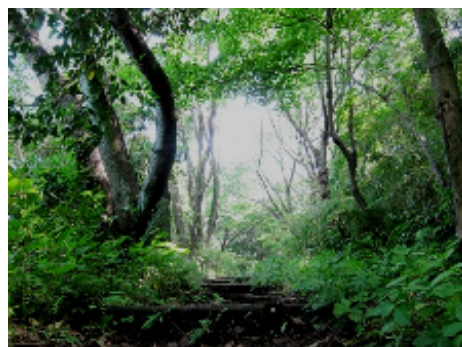
仮に、途中でこいつはやばいと気付き逃げようと思っても、実際には逃げることもできない異国の地。

ホテルに到着するまで気づかなかったのは幸いだったかもしれない。

でも良心的?な犯人でよかったとホッと胸をなで下ろすのも、何とも変な話で怖い話である。

強烈な奴に捕まっていたら、僕は今ここにいないかもしれない…。

関根 和彦



## 1. 5～6月の活動報告

- ① 5月28日(土)雨 5名 工具の手入れ
- ② 6月4日(土)晴 26名 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ間伐(池の上)
- ③ 6月11日(土)雨 4名 炭小屋整理
- ④ 6月18日(土)晴 14名 炭焼き(ドラム缶窯)、草刈り(駐車場・小屋周辺)、運営会
- ⑤ 各水曜日 準活動日として木工作业等を実施



クヌギ林で下草刈り。何があったのかな？



斜面に倒れ込んだトウネズ。重い！

## 2. 6月度運営会－6月18日開催

(1)7月度活動:3項参照

(2)その他

- ① 7月23・24日の炭焼きメンバがあと1名必要です。立候補ください。
- ② 23日・30日の味噌汁当番が未決です。最近、調理をされていない方よろしくお願ひします。
- ③ 30日の横浜栄高校ボランティア体験の取りまとめ役を募集します。立候補ください。
- ④ 8月5日(金)13時～、保土ヶ谷のろう特別支援学校のはまっ子ふれあいスクールで、竹トンボ作りと竹馬体験サポートに出向きます。現在、吉田光・村松・大庭・谷垣・吉田賢・勝俣・張間さんが行く予定です。行かれる方は立候補ください(クルマ2台の予定)。
- ⑤ 炭小屋裏の人工林間伐計画を策定します。土曜日以外に打ち合わせをします。当面ひたすら机上の論議ですが、興味のある方はお申し出ください。
- ⑥ 東日本大震災義捐金180千円を、地震発生3ヶ月に合わせ6月10日に神奈川新聞社に片岡さんと持参しました(6月11日朝刊に掲載)。同時に記者と森林ボランティアの高齢化について訴えてきました。
- ⑦ 暑気払いは8月6日(土)の予定です。余り暑くならないことを祈ります。
- ⑧ 藤原さん・片岡さんが関わっている「道志水源の間伐体験」が参加者を募集しています。7月28日(木)・8月25日(木)・9月15日(木)・10月28日(金)です。関内に8時集合しバスで現地入りし作業をします。参加したい方は藤原さんへお問い合わせください。

## 3. 7月度活動予定

- ① 7月2日(土) 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ除伐 味噌汁当番:勝俣・工藤・佐藤
- ② 7月9日(土) 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ除伐 同:赤羽・谷垣・吉田(賢)
- ③ 7月16日(土) 下草刈り(クヌギ林)、トウネズ除伐、炭材詰め、運営会 同:関根・鬼塚
- ④ 7月17日(日)午前「森づくりボランティア研修」センターにて。是非出席ください！
- ⑤ 7月23日(土) 下草刈り(池の上)、トウネズ除伐、炭焼き(本窯・ドラム缶窯) 同:未
- ⑥ 7月24日(日) 炭焼き(鬼塚・吉田賢・工藤・もう一人)
- ⑦ 7月30日(土) 栄高校支援、道具手入れ、炭小屋整理 同:未
- ⑧ 毎水曜日:準活動日

## 4. 編集後記

- ① 巻頭コラムで失敗について書いてみました。原発の事故調査検証委員長に畑村洋太郎氏が就き失敗学が話題になっています。原発事故は絶対に起こしてはならない失敗です。このレベルはハインリッヒの法則で片付ける訳にはいかないの、十分な検証が求められます。「失敗は成功の母」と言われるように、失敗したことを真摯に受け止めて同じことを繰り返さないだけでなく、それを糧にして次の段階につなげることが肝要です。我々ボランティアにも大きな事故は許されませんので、起きうるだろう事象を想定した計画を策定した活動も求められると思います(炭小屋裏人工林間伐計画もその一環)。
- ② 横浜栄高校で、7月9・10日に文化祭が催されます。高校生から学ぶこともあるかもしれません、お時間があったら行ってみましょう。

以上